

溶連菌感染症



溶連菌感染症は細菌が喉に感染し、上気道感染症や皮膚の化膿を引き起こす感染症です。

咽頭炎や扁桃炎、舌や体に小さく赤い発疹が現れ、高熱が出ます。

接触感染

- 皮膚が触れたタオルや食器等を共有したりする
- 感染者の手指に付着したウイルスが、ドアノブやタオルなどを介して口に入る

飛沫感染

- 咳やくしゃみをしたときにウイルスが飛び散り、口や鼻からウイルスが体に入る

潜伏期間：2～5日

症状：高熱後発疹、全身に鮮紅色の細かい小丘疹が広がる。
扁桃発赤、腫脹・咽頭痛・イチゴ舌。
回復期に皮膚の落屑。

登園の目安：抗菌薬を内服して24時間が経過している事。
全身状態が改善されている事



【感染予防】

①手洗い、うがいの徹底



外から帰った時やおやつを食べる前は手洗い・うがいをする。

②マスクをつける。タオル等別にする。

- 周囲の人にうつさないようにマスクをつける
- タオルや食器等の使い回しは避ける。